

# ヒト膵臓癌切除組織におけるカテプシンの発現と予後との関連に関する検討

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	ヒト膵臓癌切除組織におけるカテプシンの発現と予後との関連に関する検討
倫理審査 受付番号	第3998号
研究期間	2022年 2月実施許可日～2022年12月31日
研究対象情報の 取得期間	下記の期間に当院 肝・胆・膵外科を受診された、膵臓癌（浸潤型膵管癌）の方 2010年 1月 1日～2019年12月31日
研究に用いる 試料・情報	カルテ情報
研究概要	（研究目的、意義）

オートファジーとは細胞質成分をリソソームで分解する細胞のプロセスであり、その基本的機能は栄養素のリサイクルと細胞内品質管理とされています。カテプシンはリソソーム内に存在する蛋白分解酵素であり、膵臓癌の進展に関与しています。また、マウスの膵腺房細胞内でカテプシンBとDが欠損するとオートファジー不全が誘導されます。オートファジーも膵臓癌の進展に関与することが分かっており、本研究では手術で摘出されたヒト膵臓癌組織におけるカテプシン発現の状態で、オートファジーおよび膵臓癌予後との関連を調べ、膵臓癌の新しい治療標的を探索します。

（研究の方法）

2010年1月1日から2019年12月31日までの10年間に、当院で加療を行った膵臓癌患者さんの摘出標本をカテプシンB、カテプシンD、p62、LC3にて免疫染色し、カテプシン発現の有無とオートファジー活性を調べます。特に、カテプシンD発現の有無で症例を分類し、年齢、性別、ASA-PS、BMI、糖尿病の有無、術前胆道Drainageの有無、術前Hb値、術前Alb値、術前T-Bil値、術前eGFR値、術前CA19-9値、腫瘍径、切除可能性分類、術前治療、術式分類、合併切除の有無、手術時間 術中出血量、術中輸血の有無、術中膵硬度、周術期合併症発症率、術後膵液漏発症率、術後入院期間、最終Stage、根治度に違いがないかどうか比較するとともに、全生存期間および無再発生存期間に有意な差があるのかどうかを統計学的に解析します。

（個人情報の取扱い）

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

**本研究に関する  
連絡先**

兵庫医科大学病院 肝・胆・膵外科  
大村谷 昌樹（研究責任者）  
岩間 英明（研究担当者）

TEL | （平日 9 : 00～16 : 00） 0798-45-6582  
（上記時間以外） 0798-45-6111